



塾通信 ひまわり 27号 2024 12月



いつも塾通信をお読みいただきありがとうございます。

12月に入り、冬らしく季節になりました。毎日気温も10度前後で寒い日が続いています。朝は寒くて起きるのが辛くないですか？

また、今年もあと数日となりました。皆さんにとって、この1年はどんな年でしたか？
いろいろなことがあったと思いますが、1年間を振り返る余裕があることはとても幸せだな～と思います。

今年の1年間を振り返ってみると、ホームステイを始めて多くのヨーロッパの学生さんが塾に来てくれたことです。これは、アニメと円安のおかげです。(感謝ですね)



1) 11・12月の活動報告

(1) 11月29日(金)

都立隅田川高校渡邊校長が KATOH 塾に来てくれました。

都立高校訪問シリーズで、都立隅田川高校を訪問して渡邊校長にインタビューしてから、お付き合いが始まりました。毎年、都立隅田川高校を訪問していました。授業を見学したり、意見交換もしていました。渡邊校長から、KATOH 塾を訪問したいと言われていたのですが、なかなか日程が合わずやっと実現しました。

渡邊校長は、社会(公民)が専門です。よく、生徒を連れて、裁判傍聴に行っていたそうです。「塾でも小6と中3の生徒と裁判傍聴に行っています。案内は、弁護士さんが担当します。そして、弁護士さんと一緒に農林省の職員食堂でランチをします。」と言ったら、渡邊校長はびっくりされました。「弁護士さんと一緒に裁判傍聴できるのはとてもいいですね。」と羨ましいですといわれました。

銀行見学・外国人との交流・昨年島根の高校訪問した話などで盛り上がりお話げできました。学校だと他の教員がいますが、ここは誰もいないので気楽にお話げできたそうです。

都立小松川高校の先生や私立の副校長も塾に訪問しに来ます。(学校の先生には。当塾は評判がいいみたいです。笑)

当塾の活動が、学校や大きな塾ではできないことです。100人の大人数では、裁判傍聴や銀行見学などは、できません。少人数(10人ぐらい)であるから、このような活動が実現できます。



都立隅田川高校渡邊校長

(2) 12月2日(月)インターシップ生としてドイツ人のリックが塾に来ました。

先月、ワールド ユナイト ジャパン株式会社の辻さん(私の知り合い)から、インターシップ生を受け入れてくれないかと連絡が来しました。

インターシップ生など受け入れたこと経験がないので、やってみたいと思いました。すぐにインターシップ生と面接をしました。日本語能力はゼロ級です。

インターシップ生の名前はリックです。まだ1

9歳です。高校を卒業したばかりで、将来ドイツで学校の先生になりたいそうです。そのため、日本の教育制度・日本人の子どもたちと交流し勉強したいとことです。



ドイツ人リック
ドイツ人ズー（女性）

*ここで、保護者の皆さんはドイツの先生になりたいのに、どうして日本に来るの？と疑問に思ったと思います。

ドイツの大学入試の評価方法などが、日本とかなり異なっています。高校卒業して、すぐ大学に入学するのはあまり評価されず、大学入学する前にできるだけ異なった世界で様々な経験を積んだ学生を評価するそうです。その経験を大学に提出します。結果を評価するのではなく、挑戦した行動を評価しています。そのため、高校卒業したばかりの青年が、異国の地日本に来ます。しかも、ホームステイという日本の家庭に来ます。

（どんな食事が出るかわからないに）

ドイツの保護者は、かわいい子どもを異国の地に送って心配しないのでしょうか？

とても心配しています。どこの国でも親心は同じですね。毎日、様子を聞きに電話しています。また、こっそり日本に来てようすを確認しています。私も、ビデオ電話でドイツ・フランスの彼らのお母さんやおばあちゃんと話をしたりしました。

日本でも、「かわいい子には、旅をさせよ」と昔から言われていまね。

子どもを思うのであれば、甘やかさず、世の中のつらいことや苦しいことを経験させるのが良い

との意味です。厳しい経験を積むほど子供は成長するとのことでした。

今は、新幹線などで楽して旅ができますが、戦国時代は、歩いて旅をしていました。難所や治安の悪いところもあり、そこを歩いていかなければならなかったのです。そのため、旅は辛く・苦しいものと言われていました。

日本では、現役で大学に行かないと、一浪（浪人）という言われてしまいます、とても肩身の狭い思いをしながら、受験勉強をします。

また失敗したらどうしようと結果を気にして、結果が悪いと失敗と思い、挑戦する子どもはほとんどいません。

同じ子どもなのに、正反対です。

どちらが正しいとは、言えません。日本はとても安全な国です。挑戦して、結果がうまくいかなくても命を取られることはありません。飢え死になって死ぬこともありません。爆弾も落ちてきません。安全な日本に住んでいますので、日本の子どもたちも挑戦する勇気を持ってくれたらいいと思います。失敗はありません。「**経験**」という財産を得ますので、何でも成功と考えることができます。

12/2(月)～12/19(木)までの3週間の受け入れです。



<今後の予定>

・高校受験生（中3）は、この冬休みを利用して得意科目を伸ばしてください。

あまり得意でない科目は、基礎的な問題に絞って練習して、難しい問題や応用問題はやらないようにしましょう。

多くの人は、不得意科目を得意にしようといいますが、これはとても苦痛で、たいへんです。それよりも、得意な分野を見つける努力をしましょう。その得意な科目・分野がわかれば、それに全力で取り組んでください。びっくりするほど、点数が上がります。

・12月26日（木）～1月7日（火）

中学受験・高校受験生：冬期講習



<英語学習について②>

前回の宿題の答え

「おはよう」・「Good morning」の意味（由来）
朝のあいさつですね。



「おはようは」は「お・早く」が元の形です。
「まだ朝が早い」という状況に二人が心をふるわせて、「こんなに早いんですね」と心を合わせているのが「おはよう」と言う表現になりました。

つまり、二人はそこで「共感」しているのです。「ありがとう」と同じように「状況・様子」を表しています。

これに対して、「Good morning」は「I wish you good morning」が元々の文です。話し手の「私が」聞き手の「あなた」にとって「この朝」が良いものであるように祈るという積極的な「行為」を表現したものです。

「英語と日本語と語順が違う」とよく言われます。この語順が違うのは、日本人は話し手と聞き手の共通点に注目するのに対して。英語を母語にする話者は両者の違いに注目する点にあります。つまり、日本語は共感の言葉・英語は自己主張と対立の言葉といえます。そもそも発想が違うのです。この発想がわかると、スピーキング・英作文ができるようになると思います。

最後に、「はじめまして」と「How do you do?」はどうでしょうか？

次回の塾通信（29号）で、解説いたします。

今月のことば

失敗や挫折から、学んだことは忘れない。

寄り道をして分かったこと

間違えて気づいたこと

「ドンマイ！」

誰でもミスすることはあるからね

<来年度に向けて>

夢は小さく・努力は大きくです。



今年もありがとうございました。
来年もよろしく願いいたします。